



ほ、えみ

《病院理念》

私達は院是「誠」の医療を推進いたします

- 1. 私達は他人の為に尽くして感謝しよう
- 1. 私達は自分の力で伸びて行こう
- 1. 私達は私達の規則を尊重しよう



《基本方針》

- 1. 地域に根ざした病院として、安心できる医療提供に努めます
- 1. インフォームドコンセントを徹底し、患者様の選択を尊重した医療をめざします
- 1. 患者様のプライバシーを尊重いたします
- 1. 知識と技術の向上に努め最善の医療をいたします
- 1. 優しさ思いやりを大切に心のこもった公平な医療をいたします

春は新しい年度の始まりの季節です。当院にも新入職員が加わりこの地域の医療を支えていく戦力として活動を開始しています。当院は基本方針の冒頭に「地域に根ざした病院として、安心できる医療提供に努めます。」と謳っていますが、私たち医療人は患者さまとの関わりの中で成長させていただいています。皆様のご協力とご鞭撻をよろしく願っています。

さて、十全総合病院はこの地域に密着した、この地域で本当に必要とされる医療機関であり続けたいと思っています。地域医療の問題というのは様々ありますが、我が国が対応を迫られている喫緊の問題として人口の高齢化があります。人口の高齢化は先進国に共通の問題ですが、中でも日本は諸外国に例を見ないスピードで高齢化が進ん



◎診察日【脳神経外科】

- 火～金曜日
午前 8 時45分 ~12時
- 火曜日
午後 2 時 ~5 時

でいるのです。(新居浜市の高齢化率は30.6%で全国平均26.3%よりもさらに高い値になっています。)

高齢者の社会保障は、1965年には高齢者1人を9.1人の生産年齢層が支えていたのですが、2012年には2.4人、2050年には1.1人で支えないといけないと推測されています。

高齢になると心身ともに機能が低下するフレイルという状態に陥りやすく、支援が必要な高齢者だけの世帯も増えています。このような問題に対して2005年に「地域包括ケアシステム」という考えが生まれ、2013年に「社会保障改

地域包括ケアシステムにおける当院の役割

十全総合病院院長 中村 寿

革プログラム法」で政策として推進される取り組みに定められました。

地域包括ケアシステムの考え方というのは、各地域の住民が住み慣れた場所自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられる、一億総活躍社会と言われるように働ける人は働き続けられる環境を作り上げる、そのために住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される社会システムを作り上げていくというものです。病気があっても「時々入院、ほぼ在宅」で住み慣れ



三菱UFJリサーチ&コンサルティング「地域包括ケア研究会」(地域包括ケアシステム構築に向けた制度及びサービスのあり方に関する研究事業)平成27年度厚生労働省老人保健健康増進等事業

た場所で生活していけるようにすることを
目指しています。

一般的に高齢になるほど体力も低下し、
病気になる率が高くなりますので、当然
「医療・看護」「介護・リハビリ」などの処置
や支援が必要になります。そのサービスを
適切に受けるためには、各地域における
しつかりとした「保健・福祉・生活支援・予
防」が必要となります。

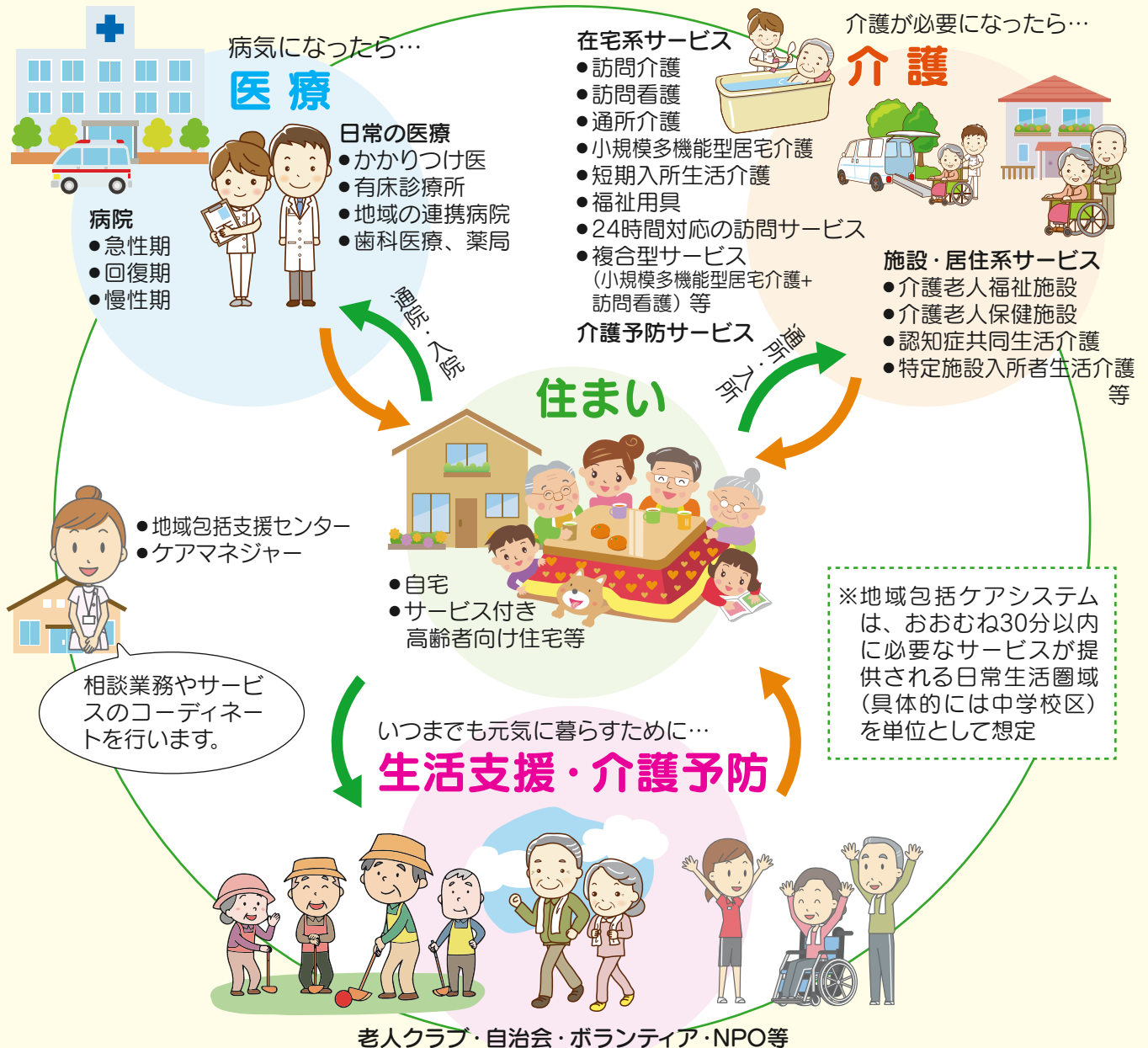
また、安定した住まいと住まい方が確
保されなければなりません。そして、その
大前提となるのが本人・家族の選択と心構
えということになります。

医療、リハビリ、保健、予防などは医
療機関が積極的に関われるところでの
で、地域包括ケアシステム構築に私達が
果たすべき役割は大きいと思います。

十全総合病院は、健康を損ねてしまっ
た方にとっては癒やしと安らぎを提供でき
るオアシスであり、在宅社会復帰への自信
と勇気をつけていただける場所でありたい
と考えています。

地域包括ケアシステムの中でも、地域に
お住まいのみなさんが安心して生活を続け
られるお手伝いができるように職員一同、
研鑽努力を続けて参りますので、今後と
もどうぞよろしくお願いたします。

地域包括ケアシステムの姿



三菱UFJリサーチ&コンサルティング(地域包括ケア研究会)「地域包括ケアシステムを構築するための制度論等に関する調査研究事業」平成25年度地域包括ケアシステムを構築するための制度論等に関する調査研究事業

糖尿病とフットケア

形成外科・皮膚科 神田 郁乃

◎診察日【形成外科・皮膚科】

- 月～土曜日
午前 8 時45分～12時
 - 火～木曜日
午後 1 時30分～5 時
- 第1水曜 午後休診
第3水曜 4 時30分迄

糖尿病患者さまでは、足の潰瘍(きず)が重症化し、足趾や足の切断に至るケースが少なくありません。多くは細菌感染が誘引になります。この予防のために、日頃のフットケアが重要になります。その対象として代表的なものが、鶏眼(けいがん)・ウオノメ・胼胝(べんち)・タコ・足白癬(あしはくせん)・みずむじ(みずむじ)の治療です。

①鶏眼・胼胝(ウオノメ・タコ)

糖尿病患者さまでは、多数の人に鶏眼・胼胝がみられます。これは、治療のために運動を取り入れていく歩幅からではありません。足に変形があることが多いからです。

糖尿病の合併症で、よく知られているもの

ひとつに、末梢神経障害があります。末梢の運動神経に障害がおけると筋肉が萎縮し、指や足の甲に変形が起こるのです。足が変形すると体重のかかる部位が通常とは変化し、鶏眼や胼胝ができやすくなります。

さらに、知覚神経にも障害があると痛みを感じなくなり、鶏眼や胼胝が大きくなってもそのまま歩いて靴ずれで皮膚潰瘍ができることが少なくなありません。潰瘍ができて、痛みを感じにくいため放置して潰瘍が大きくなったり、細菌感染を起こしやすくなります。

潰瘍や細菌感染をふせぐためには、鶏眼や胼胝ができないように足に合った靴をはくことが大切です。足の変形がある場合には、専用の装具や中敷きを使用するのもよいでしょう。日頃から鶏眼や胼胝ができてしまう場合には、定期的に削る処置を行います。その場合、削りすぎて傷をつくらぬように気を付けて下さい。自分で削るのが難しい場合は、病院でも処置を行っているので、あまりひどくならないうちに受診しましょう。

②足白癬(みずむじ)

白癬そのものは皮膚の角質層にとどまっておき、深部に入り込むわけではありません。足白癬によって水疱ができたり、皮膚がふやけてジクジクした状態になったりすると、その部位から細菌感染を起こしやすくなります。足白癬の治療をすることが、細菌感染症の予防につながります。

いったん細菌感染を起こしてしまうと、まず自然には治りません。抗生物質での治療や下肢の挙上・安静なども必要になります。細菌感染が重症化すると組織の壊死がおこり、外科的な手術や足趾の切断をしなければならなくなることもあるのです。

足の潰瘍は、靴ずれや水虫などのささいなきっかけで、ある日突然できるものです。予防のためには、鶏眼・胼胝をつくらぬようにすること、日頃から水虫の治療をしておくことを心がけましょう。そして重症化させないために最も大切なことは、毎日自分の足を見て、「傷がないか、腫れていないか、色が変わったか、異変がないか」を確認することです。自分の足を守るために、日頃から足をチェックする習慣を身につけましょう。



【フットケア外来】
毎週火曜日 午前
2階23番受付 守谷
※糖尿病患者さま対象の
予約制となります。



使っていますか？ 歯間清掃用具

歯科衛生士 伊藤 美紗子

家庭でできるセルフケアの中に歯ブラシによるブラッシングがあると思います。毎日のブラッシングで歯の隅々まで綺麗に磨く事ができていますか？

残念ながら歯と歯の間に付いた汚れを歯ブラシだけで落とすことは不十分です。個々のお口の中の環境はさまざまです。成長や老化などで変化するお口の状態やそれぞれの歯並び、歯の形などに対応した正しい清掃用具とその使い方を知り、セルフケアする事が必要です。

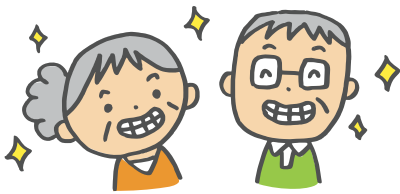
そこで、歯ブラシに加え歯間ブラシやデンタルフロスを使用し、歯ブラシでは届かない歯と歯の隣接面に付いた歯垢、歯と歯の間に入り込んだ食べかすなどを除去することが大切になってきます。歯間ブラシとデンタルフロスはどちらも歯と歯の間の汚れを落とすイメージがありますが、用途には違いがあります。

歯間ブラシは、歯と歯の間が広い方に適しています。歯間ブラシを使用してみたが、なかなか歯間に入らないという人もいると思います。そのような場合は無理して使用する必要はありません。強引に歯間部に入れようとすると、歯肉に傷をつくる原因になったり、歯と歯の間が以前より広くなったりしてしま

うことがあります。歯間ブラシにはサイズがあるので、ただなんとなく使用するのではなく自分に合うサイズを選択するようにしてください。

細いサイズの歯間ブラシが通らないような場合や、歯と歯が重なり歯間ブラシが通りにくい人などにはデンタルフロスがお勧めです。デンタルフロスにはホルダータイプとロールタイプがあります。ホルダータイプは、ホルダーにフロスが取り付けられてあり、手間がかからず、すぐ使えるので初心者の方にお勧めです。ロールタイプは、必要な長さでフロスを切り取り、指に巻きつけて使用します。初めは難しいですが、慣れれば簡単で経済的です。

このような歯間清掃用具の詳細な使用方法などは、かかりつけの歯科医院などに相談、指導してもらい効果的に使用できる技術を習得し、歯ブラシと歯間清掃用具をうまく併用して口の中を清潔にし、よりよい口内環境を保つようにしていきましょう。



ブルーライトの影響について

視能訓練士 丹 佳代子

IT機器の普及により、パソコンやスマートフォンを使用する機会も多いと思います。それに伴い、ブルーライトの影響についてもいろいろな研究がされており、皆さんもブルーライトは目によくないという話を聞いたことがあるのではないのでしょうか。眼科を受診する患者さまからも質問されることがあります。

ブルーライトとは、目に見える光の中で最も波長が短い強いエネルギーを持つ光です。スマートフォンやパソコン、LED照明に青色光が含まれているため、これが拡散して眼精疲労の原因になるといわれ、さらに涙を減らす作用もあるなど、さまざまな影響があることがわかっています。

そこで、対処法としては、ブルーライトカット眼鏡や、フィルターやフィルムの使用、パソコンやスマートフォン自体の明るさを弱めることなどがあります。

その一方で、ブルーライトと体内時計の関係についても研究されています。朝、昼はブルーライトを含む光を浴びることその刺激が脳に伝わり体が目覚めます。これが、夜中にも大量のブルーライトを浴びると、脳が昼間だと勘違いし睡眠を促す物質が分泌されなくなります。

体内時計が狂ってしまうことで日中の活動低下、睡眠障害なども引き起こします。そのため、ブルーライトを浴びるタイミングも重要になってきます。

日常的にブルーライトが目に入る環境にあります。が、ちょっと意識してみればどうでしょうか。



糖尿病について

平成30年2月2日(金)14時より慈光園にて、リハビリテーション科 理学療法士 佐々木宏美 による院外医療講演が開催され、施設利用者20名の方が参加されました。

人口の高齢化が進み、食べすぎ・飲みすぎ・運動不足・ストレスなど生活習慣が変化しているため、高齢者の糖尿病患者が増加していることや、今までの生活習慣を見直し、食生活を改善すること、なぜ運動をしたほうが良いのか、どのような運動が適しているのかなどが分かりやすく講演されていました。

最後にはDVDを用いて実際に糖尿病予防の体操を歌に合わせて参加者で行いました。参加者は熱心に耳を傾けており、講演後も多くの質疑応答がなされ大変充実した講演となりました。



発達障がいをもった子どもの特性と理解

平成30年2月22日(木)14時より新居浜市役所にて『発達障がいをもった子どもの特性と理解』と題して、リハビリテーション科 作業療法士 藤井雅之 による院外医療講演を開催しました。公立保育園主任保育士10名の方が参加されました。

はじめに、医療の進歩、両親の高齢化によって発達障がい子どもが増加していることについての話がされた後、参加者から事前に質問された内容に答える形で講演が行われました。発達障がいの子どもたちを前に日々奮闘されている先生方から「支援のポイント」「行動理由を理解するためには「就学支援について」など多数の質問が出されました。

まず発達障がいとは何かを軸に、メカニズム・画期的な新薬の開発について説明がありました。また、発達障がいの子どもたちはこだわりが強い面がありますが、「こだわる」ことには理由があり、本人が「納得すること」で次に進むことができる、関わりをもつ人の支援の方向が正しければ子どもが伸びる、とのことでした。講演後は先生方の晴ればれとした表情が見られ、大変有意義で充実した医療講演となりました。



紹介医の先生方との集い

平成30年2月17日(日)リーガロイヤルホテル 新居浜において日頃から患者さまをご紹介いただいている地域の先生方をお招きし、「紹介医の先生方との集い」を開催しました。

この会は「顔の見える医療連携を推進する」という目的で平成9年2月に第1回目を開催してから今回で22回目を迎えました。

市内外から46名の先生方が出席され、理事長及び院長挨拶、当院医師の紹介、続いて古林太加志名誉院長より『当院における医学生、若い医師との関わり』というテーマで講演が行われました。

席を移しての懇親会では、新居浜市医師会長 中山恵二先生による乾杯のあと、会食となりました。場内は和やかな親睦の場となり、紹介医の先生方と当院医師による情報交換など、様々な話に花を咲かせ、有意義な交流のひと時となりました。

地域包括ケアシステムの実現に向けて、医療連携は不可欠であり、今後も継続して開催していきたいと思っております。



参加費無料
申込不要

糖尿病教室のお知らせ

日時 毎週水曜日 午後2:00～
場所 外来棟3階カンファレンスルーム

開催日	内容	担当
4/ 4 (水)	糖尿病ってどんな病気？ 食事はどうしたらいいの？	管理栄養士
4/11 (水)	検査のあれこれ！目標値の設定 糖尿病と上手に付き合おう	臨床検査技師 看護師
4/18 (水)	あなたの眼大丈夫？～糖尿病性網膜症について知っておこう～ お薬の種類を教えて	眼科医師 薬剤師
4/25 (水)	運動のはじめの一步	理学療法士
5/ 9 (水)	もう怖くない低血糖～正しい対処法を知ろう～	看護師
5/16 (水)	インスリン注射について聞いてみよう 私にもできる運動ってあるの？	薬剤師 理学療法士
5/23 (水)	食物繊維をしっかりとりよう 血糖値測定のタイミング	管理栄養士 臨床検査技師
5/30 (水)	カンパセーションマップ すぐろくのような地図を囲んで、糖尿病の知識や体験を話し合い、糖尿病について楽しく学びます	担当スタッフ
6/ 6 (水)	糖の流れを正常化する 嗜好食品は上手にとろう	管理栄養士
6/13 (水)	正しく磨いて健康生活 しめじ・えのきを知っていますか？～糖尿病合併症～	歯科衛生士 看護師
6/20 (水)	気になる健康食品(サプリメント) 検査のあれこれ(HbA1Cってなあに)	薬剤師 臨床検査技師
6/27 (水)	運動についてお悩みありませんか？	理学療法士

※都合により場所・内容が変更になる場合があります。

病院敷地内 全面禁煙

トイレや人目につかないところでの喫煙は防火管理上も大変危険ですので、喫煙はくれぐれもご遠慮ください。皆様のご理解ご協力を、よろしくお願いいたします。 病院長

移動図書館 青い鳥号



来院予定日

4/ 11 (水)・25 (水)

5/ 16 (水)・30 (水)

6/ 13 (水)・27 (水)

来院時間 午後3:10～3:50

お問い合わせは…

新居浜市立別子銅山記念図書館
TEL(0897)32-1911

◎悪天候や特殊な事情により、運行を中止することがあります。

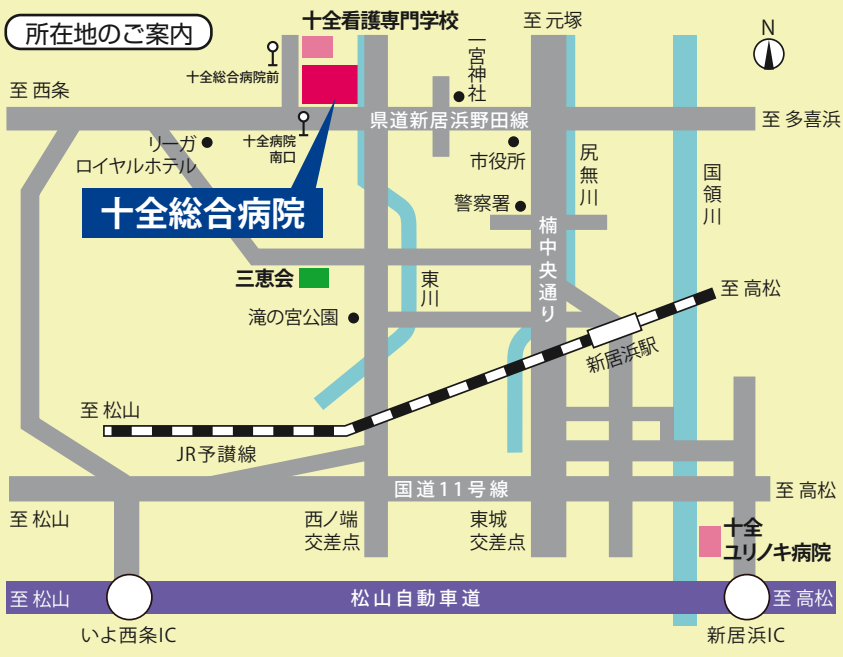
患者さまの権利

私たちは患者さまとのより良い信頼関係を築くため、「患者さまの権利」を尊重します。

1. 良質で安全な医療を平等にうける権利
1. 病気の診断・治療方針・今後の見込みについて十分な説明をうける権利
1. 他院を含め他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利
1. 自分が受ける医療に参加し自ら決定する権利
1. 診療上の個人のプライバシーについて保護される権利
1. 診療記録の開示を求める権利

患者さまの責務

1. 医師が説明し同意した治療方針に協力する義務があります。
1. 自分自身の健康に関する情報はできる限り正確にお伝えください。
1. 院内の規則を守り、他の患者さまの治療に支障を来さないよう協力をお願いします。



交通のご案内

- 《お車》新居浜ICから約20分、いよ西条ICから約20分
【駐車場完備 272台収容可能】
- 《バス》瀬戸内バス……「十全総合病院前(広瀬→多喜浜線)」下車
「十全病院南口(今治→マイントピア別子線)」下車
- 《JR》JR予讃線……新居浜(にいほま)駅下車、タクシーで約10分



一般財団法人 積善会

十全総合病院

〒792-8586 愛媛県新居浜市北新町1番5号
TEL(0897)33-1818 FAX(0897)37-2124

ホームページアドレス <http://jyuzen.jp/>



ホームページ



フェイスブック

編集 広報誌編集活動委員会

医療・福祉 十全グループ

- 十全看護専門学校
あたたかい気持ちとあつい心をもった看護師の育成を図っています。
- 愛媛十全医療学院
理学療法士、作業療法士の育成
校是【博く学び、深く思い、厚く思いやる】
- 愛媛十全医療学院附属病院【内科・整形外科】
生活能力の回復と維持を図っています。
- 医療法人 十全会 十全ユリノキ病院【精神科】
あたたかい心、思いやりの心、私達は心の医療を推進します。
- 社会福祉法人 三恵会
子供から高齢者まで、幅広い世代へのお世話を行っています。
総合福祉施設 やすらぎの郷
介護老人福祉施設 ハートランド三恵
介護老人保健施設 リハビリステーション三恵荘
介護老人保健施設 希望の館
障害者支援施設 三恵ホーム
児童福祉施設 十全保育園
総合福祉館 コミュニティハウス三恵
福祉館 恵海
児童福祉施設 中萩保育園
養護老人ホーム 新居浜市立慈光園



環境負荷を抑えた植物油インキと適切に管理された森林から生産された紙を使用しています。